

安全データシート (SDS)
<混合物用（塗料用）>

1. 化学品及び会社情報

製品番号 005-260 CLIMAX ECO BUMPER PUTTY3

製品名 クライマックス E C O バンパーパテ 3

毒劇法 該当せず

種類 不飽和ポリエステル樹脂塗料

主な用途 自動車補修用塗料

会社名 株式会社ソフト99オートサービス

住所 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町3-1-3

部門 開発部 TEL NO. 06-6947-9955

担当者 濱根一平 FAX NO. 06-6945-9991

作成者 濱根一平 作成・改訂 2018年12月7日

ホームページアドレス <http://soft99-as.co.jp>

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

GHS分類を評価した結果、GHS分類に該当した項目のみ表示しています。

表示の無い項目は、分類できない、区分外のいずれかに当たります。

可燃性固体 区分1

眼に対する重篤な損傷性/刺激性 区分2

皮膚感作性 区分1

特定標的機器毒性(単回ばく露) 区分1 (呼吸器)

特定標的機器毒性(反復ばく露) 区分1 (呼吸器)

【GHSラベル要素】



危険

【危険有害性情報】

- 燃えやすい固体であり蒸気が滞留すると爆発する危険性がある。
- 重篤な眼への刺激
- アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れがある。
- ばく露により臓器の障害がおこる。
- 長期または反復ばく露による臓器の障害がおこる。

【注意書き】

《予防策》

- 規制当局が指定する保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。→禁煙。
- (粉じん雲が発生する可能性がある場合)防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- (静電気に敏感な物質を積みなおす場合は)容器及び受器を接地すること。
- 大火災および大量にある場合:区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後は良く手を洗う事。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。

《応急措置》

- (水がリスクを増大させる場合)火災の場合には、消火に規制当局が指定する適切な手段を使用すること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う事。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 取り扱った後、手を洗う事。
- 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う事。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 特別処置が緊急に必要である。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ばく露した場合:医師に連絡すること。
- (緊急の処理が必要な場合)特別な処置が緊急に必要である。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

《保管》

- 施錠して保管すること。

《廃棄》

- 内容物/容器を行政の規制に従って破棄すること。

3. 組成、成分情報

成分及び含有量 (危険有害物質を対象)

No.	成 分 名	CAS No.	含有量 Wt%	P R T R 対象	安衛法NO-備 考
1)	タルク(アスベストなし)	14807-96-6	20~25		
2)	非結質シリカ	-----	1~5		
3)	酸化マグネシウム	1309-48-4	1~5		
4)	二酸化チタン	13463-67-7	1~5		191
5)	オクチル酸コバルト	136-52-7	0.1~1		172
6)	メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	10~15		
7)	エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート	41637-38-1	1~5		

(元素名)

該当元素を含まず

*元素名と成分名の欄に同一P R T R物質番号がある場合のP R T R計算は、元素名の含有量を用いて下さい。

4. 応急措置

吸入した場合

- 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- 付着物を布で素早く拭き取る。
- 大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤で十分に洗い落す。溶剤・シンナーは使用しない。

目に入った場合

- 外観に変化や痛みがある場合、S D Sを提示して医師の診断を受ける。
- 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合

- 出来るだけ速くS D Sを提示し医師の診断を受ける。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 誤って飲み込んだ場合安静にし直ちにS D Sを提示し医師の診断を受ける。
- 無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませない。
- 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- 適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。

換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤

水 炭酸ガス 泡

使用してはならない消火剤

- 適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。
- 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 指定の消火器もしくは消火切にを使用する。
- 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- 消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 作業の際には適切な保護具(手袋・保護マスク・保護メガネ等)を着用する。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法・機材

- 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
- 漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
- 付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
- 衝撃・静電気で火花が発生しない材質の用具を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 換気の良い場所で取り扱い容器はその都度密栓する。
- 容器はその都度密栓する。
- 周辺で火気・スパーク・高温体の使用を禁止する。
- 使用済みウエス・塗料カス・スプレーダスト等は廃棄するまで水に浸しておく。
- 皮膚・粘膜または着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。
- 過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
- 日光の直射を避ける。
- 通風の良いところに保管する。
- 火気・熱源から遠ざけて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

No. 物 質 名

- タルク(アスベストなし)
- 非結質シリカ
- 酸化マグネシウム
- 二酸化チタン

管理濃度

ACGIH(TLV-TWA)

10M fume

No. 物質名
5) オクチル酸コバルト
6) メタクリル酸2-ヒドロキシエチル
7) エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート

管理濃度

ACGIH(TLV-TWA)

略記号： P : ppm M : mg/m³ ACGIH : 米国産業衛生専門家会議の定める想限度

- 設備対策
- 呼吸系の保護具
- 手の保護具
- 目の保護具
- 皮膚および身体の保護具
- ・長時間取り扱う場合、給排気が十分にとれば露を受けない設備にする。
 - ・その有害性物質に対し適切に保護できるマスクを着用する。
 - ・有機溶剤又は化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。
 - ・保護メガネを着用する。
 - ・取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

状態(20°C) : ペースト状

pH : 該当せず

融点・凝固点 : 情報なし

爆発限界 情報なし

蒸気圧 : 13.3/Pa

蒸気密度 : 情報なし

n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし

自然発火温度 : 情報なし

臭いの閾値 : 情報なし

色 : 白系

臭気 : わずかに有機溶剤臭

沸点 : 95°C

引火点 : 88.5°C (消防法の試験方法による)

密度 : 1.49g/cm³

溶解度 : 情報なし

分解温度 : 情報なし

蒸発速度 : 情報なし

燃焼性(固体・ガス) : 情報なし

その他:

10. 安定性及び反応性

安定性

条件 (温度・光等)

・標準的な条件では反応しない。

避けるべき条件

・情報を有していない

混触危険物質

・情報を有していない

危険有害な分解生成物

・情報を有していない

その他の危険性情報

・この製品を含んだ布・紙・ハケ・ローラー・ダストなどを堆積したり丸めたまま放置しないこと。

11. 有害性情報

	急性毒性				
	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵・ミスト)
タルク(アスベストなし)	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
非結質シリカ	区分外 (3160mg/kg)	区分外	分類できない	分類できない	分類できない
酸化マグネシウム	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分外 (20000mg/kg)	区分外 (10000mg/kg)	分類できない	分類できない	区分外 (6.82mg/L)
オクチル酸コバルト	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	区分外 (5564mg/kg)	区分外 (3000mg/kg)	分類できない	分類できない	分類できない
エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

	皮膚腐食性/刺激性	眼損傷性/眼刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性
タルク(アスベストなし)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
非結質シリカ	区分外	区分 2	分類できない	分類できない
酸化マグネシウム	分類できない	区分 2	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分外	区分 2 B	分類できない	分類できない
オクチル酸コバルト	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	区分外	区分 2 A	分類できない	区分 1
エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	生殖毒性(授乳用)
タルク(アスベストなし)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
非結質シリカ	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
酸化マグネシウム	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分外	分類できない	分類できない	分類できない
オクチル酸コバルト	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

	特定標的臓器(単回ばく露)	特定標的臓器(反復ばく露)	吸引性呼吸器有害性
タルク(アスベストなし)	区分 1 (呼吸器)	区分 1 (呼吸器)	分類できない
非結質シリカ	区分 3 (気道刺激性)	分類できない	分類できない
酸化マグネシウム	区分 3 (気道刺激性)	分類できない	分類できない
二酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない
オクチル酸コバルト	分類できない	分類できない	分類できない
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	分類できない	分類できない	分類できない
エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート	分類できない	分類できない	分類できない

その他の有害性情報

・製品としての安全性試験は行っていない。

1 2 . 環境影響情報	<ul style="list-style-type: none"> 漏洩、廃棄の際、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。 情報を有していない 情報を有していない 情報を有していない 情報を有していない
生態毒性	
残留性・分解性	
生態蓄積性	
土壌中の移動性	

1 3 . 廃棄上の注意	
残余廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 塗料・容器等の廃棄物は、許可を受けた産廃物処理業者と契約して処理する。 容器・機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さない。 排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても”廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理するか業者に委託する。 環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
汚染容器および包装	

1 4 . 輸送上の注意	
共通	<ul style="list-style-type: none"> 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、崩れ防止を確実に行うこと。
国内規制	
陸上輸送	<ul style="list-style-type: none"> 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。 荷送り人は運送者に運搬注意書（イエローカード等）を交付する。 船舶安全法に定めるところに従うこと。 航空法に定めるところに従うこと。
海上輸送	
航空輸送	
その他	
国際規制	
国連番号	1325
国連輸送名	可燃性固体
国連分類	4.1
容器等級	I I
海洋汚染物質	非該当

1 5 . 主な適用法令	危険物の規制に関する政令による指定可燃物 可燃性固体類
	労働安全衛生法：第57条－2
	労働省告示 第33号(平成8年度)

1 6 . その他の情報	
主な引用文献	・日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 (社) 日本塗料工業会
	・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック（混合物用（塗料用）】
日本塗料工業会	
・ザックス 有害物質データーブック	丸善

注 意	<ul style="list-style-type: none"> このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。 このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。 記載内容の中で含有量・物理的化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。 この安全情報は国の規制を含む、(社)日本塗料工業会の基準に基づくものであります。地方自治体の規制情報は含まれていません。安全操業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。
-----	---